

9. 国民公園等

皇居外苑、新宿御苑及び京都御苑は、旧皇室苑地が昭和24年に国民公園として開放されたものです。また千鳥ヶ淵戦没者墓苑は、いわゆる「無名戦没者の墓」として、昭和34年に整備されたものです。いずれも環境省が管理を行っています。

国民公園

皇居外苑



皇居前広場、北の丸地区及び皇居の周囲をとりまく12のお濠を含めた115.1haの公園です。皇居前広場は約2,000本の松と芝生を中心に整備され、また、45万tの濠水は、浄化施設により浄化し、現在も皇居の前庭であるという特殊な性格にふさわしい美観と静穏とを保っています。なお、和田倉には大小の噴水や落水などを組み合わせ演出する和田倉噴水公園が整備されています。北の丸地区は、森林公園として整備され、園内には背の低い木を含め約175種、13万本にも及ぶ樹木が植えられています。

新宿御苑

明治時代の代表的庭園で我が国の数少ない西洋風景式庭園の名作とされています。面積58.3haの苑内は、四季折々の風景が観賞できるよう1,300本の桜のほか、2万本にも及ぶ樹木が植えられ、熱帯植物が展示されている温室もあります。毎年11月にはわが国皇室ゆかりの、菊造りの伝統を受け継いだ菊の栽培・展示を行っています。また、緑の保全等に係る普及啓発、自然とのふれあい推進などを目的とした施設として、インフォメーションセンターが整備され、新宿御苑に関する情報のほか、自然環境に関する情報提供、各種の展示等を実施しています。



京都御苑



京都市のほぼ中心に位置し、京都御所、仙洞御所をとりまく面積63.3haの苑地で、かつては200を越える宮家、公家屋敷があったところです。苑内には、蛤御門や九条家の別邸「拾翠亭」など歴史的遺構が残され、また、「母と子の森」「トンボ池」なども整備されていて、これらを利用した自然観察会等自然とのふれあい活動を積極的に実施しています。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑

先の大戦での海外における戦没軍人軍属及び一般邦人のご遺骨を納めた「無名戦没者の墓」です。平成20年5月現在352,926柱が、六角堂内に安置されています。毎年春には厚生労働省主催の慰霊行事として拝礼式が行われ、また年間を通じて各種団体主催の慰霊祭が随時行われています。面積1.6haの苑内には、樹木が鬱蒼と茂り、その利用形態にふさわしく、静かで荘厳な公園です。

